
パンダコッタ王国

砂梨館

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パンダコッタ王国

【Nコード】

N2422Z

【作者名】

砂梨飴

【あらすじ】

10歳の時、

国中パンダだらけのパンダが大好きな

パンダコッタ王国に異世界迷い込みしてしまった女の子。

それから6年後・・・

愛パンダ（愛犬的な感じ）と共に

毎日パンダにかこまれながら日々を過ごしています！

一話だけ見るとシリアスっぽいですが、
二話以降はコメディ調で話が展開していきます。

どんな国かというと・・・

国中にパンダが溢れる『パンダコッタ王国』

国民は必ず一匹以上のパンダを所持していて、
産まれたときからパンダときょうだいのように
一緒に育ち、国にはパンダの雑貨品や装飾品、
物に限らずパンダの形をした食べ物などが溢れかえる・・・

右を向いても

左も向いても、

下を向いても

上を見れば雲までもがパンダ形！！！！

兎に角パンダ大好き王国である。

そんな国に、私は10歳の時に迷い込んでしまった。
いわゆる『異世界迷い込み』ってやつである。

私が独自に調べた結果私が勝手に迷い込んでいるだけで誰かに召喚されたわけではないので幸か不幸か私には、

魔王を倒せ！とか、

王と結婚しろ！とか、

そういう使命というものがない。

そういったものが無い分、元の国に帰るには来たときと同様、偶然でもない限り帰れないのだろう・・・と、ほぼあきらめきっている・・・。

私がこの国に来た当初、中国っぽい雰囲気

(あくまでも「っぽい」)

の世界で、私の言葉は通じず、

他の人が何言っているかもわからず、

最初の数ヶ月はわけもわからず泣いて過ごした。

そんな私を保護してくれて、辛抱強く優しく

世話をしてくれたのが、私の住んでいる

お屋敷の主『ニコラ様』

お屋敷はどこのお城ですか？つてくらい豪華で広く、
着ている服が庶民の私にもわかるくらい高価そうで、
気品溢れるオーラから、

直接は聞いたことはないがかなり身分ある人なのだろうと推察できる。

あれから6年。

こちらの言葉もただどしいながらもしゃべれるようになり、

(きつとこの口の人からは日本語を話す中国人みたいに

「何々あるね」とか言ってるように聞こえているの

だろうなあ〜と思いつながらしゃべってる。実際どうかは知らないが・・・周りの反応がそんな感じなんだよな〜（日本語をたどたどしくしゃべる外国人を見る目みたいなの？）リスニングは分からない言葉以外は完璧に聞き取れるようになった。

そんな私は、今ニコラ様に恋している。

身分違いの恋だ・・・それは分かっている・・・。

でも、いつのまにか好きになっていたのだ・・・。

「思っているだけなら許されるよね？」

私はそうミランジエに話しかける。

ミランジエは私の育てているパンダの名前だ。ちなみに雌。パンダツコッタ王国に迷い込んだ私も例に漏れずパンダを所有することになってしまったのだ。

最初はわけもわからない状態だったか、6年経った今ではなんとか世話が出来るようになった。

私の一番のお友達だ。

どんだけパンダかというと・・・

ちなみに今私は自分の部屋にいるのだが、
この時点でもうパンダだらけだ。

ベットの装飾はもちろんパンダ。

布団もシーツも毛布も、ワンポイントにパンダが
縫いつけられてたりして兎に角どっかにはパンダがいる！

そして溢れかえる大小のパンダのぬいぐるみに、

カーテンもカーペットも白と黒のパンダ柄！

洗面台に行けば蛇口もパンダで歯ブラシの持ち手がパンダ！
当然コップもパンダの絵が描かれている。

そしてなんと天井！

どういう原理なのかは知らないが・・・木目までパンダ！！！！

確かにパンダは好きだ・・・可愛いと思う・・・でも、

ここまでパンダパンダだと逆に恐怖だ・・・。

今では慣れたけど・・・一時期夢にまでパンダが出てきて
よくうなされた・・・。

パンダづくしはこれだけでは終わらない。

部屋を出て（当然ドアノブもパンダ！）

廊下を歩けば壁にはパンダの絵。

そして食堂に着くと、椅子もテーブルクロスも

グラスもコップも皿もスプーンもみんなパンダ！

そして出てくる料理・・・これもみんなパンダ！

今日の朝ご飯はココアとサンドイッチそれからパンナコッタなのだ
が・・・

ココアはクリームでパンダの絵柄が書かれていて・・・

サンドイッチはホットサンドで、焼き後は当然といわんばかりのパ
ンダ・・・

そしてパンナコッタはパンナコッタ改めパンダコッタ・・・

あ、ちなみにパンナコッタはこの国の名産物の一つである。

あーでも一番の極めつけはアレ・・・服だ。
服もパンダなのである。

パンダの着ぐるみでもを着ているのか？って・・・

違うよ、いや違わなくもないか。

赤ちゃんとか小さい子はパンダの着ぐるみを着ている。

かくゆう私もこの国に来た当初は5、6歳くらいの子と
間違われていて着せられていた・・・抹消したい過去だ・・・。

これは子供の場合だが・・・この国では大人も服がパンダなのだ。どういふことかというと、私が今着ている服で説明しよう。

今私は上半身はチャイナ服っぽい紅い服を着ているのだが・・・その服にはフードが付いている。

そしてそのフードには、パンダの可愛い黒いお耳と黒い目、黒い鼻が付いていて被るとパンダになれるのだ。

それだけではない！

下はひらひらの白のスカートと太股までの黒のストッキング、ひざぐらいまであるブーツを履いているのだが・・・

スカートにはパンダの可愛い白い尻尾・・・。

スカート履いて、フードを被れば、あら不思議あなたも擬人化パンダに大変身

って、恥ずかしいわ！！！！

なんの羞恥プレイだ？！

私今年で16歳になるっていうのに!？

今まではそのパンダ服をおとなしく着ていたが最近は年齢的なこともあって着たくないところねいたら、ニコラ様に、

「女性はそのパンダ服をどれだけ可愛く着れているかで魅力を計られるんですよ?!ですからね・・・」

うんたらかた〜らっと、言われてしまいしぶしぶと着ている。

要約した話を日本風で例えてみると、可愛い子がわざわざ髪をばさばさにして度近眼めがねをかけて地味にしてわざわざ歩いているようなものらしい……。

ちなみに男性はどれだけパンダ服をかつこよく着れているかで魅力が問われるらしい……。

確かにニコラ様はパンダ服を着ていてもかつこいい。

大体こんなもの着ているとコスプレ〜という感じになってしまうのに、

ニコラ様はしつかりときこなしていて文句なしにかつこいい。

私は絶対付けたくないが……パンダ耳のカチューシャつけてても違和感無しだ！

（フード服を着ないときはパンダ耳をつけるのが常識なのだか……）

なんでもニコラ様が道を歩けばそれを見た女性達があまりの魅力に卒倒するらしい。

確かにニコラ様はかつこいいけど……異世界の感覚ってよくわからないや……。

交配

そんなことをつらつら考えながら食事をしていたら
ニコラ様がこう言った。

「前から考えていたのですが・・・私のミツシエルとアヤのミラン
ジエを交配させませんか？」

「こ・・・こっちはいい？」

小首を傾げて聞いてみる。

私はこの国の人間じゃないので難しい言葉は分からない。

ちなみにミツシエルっていうのはニコル様が所有している

パンダ（雄）の名前だ。なんでも産まれたときから一緒にいるのだ
とか・・・。

「子供を産んで貰うって事です」

「産む・・・産む・・・ぶっ！！！」

丁度飲んでいたココアをふきかけた・・・噴かなかった自分を褒め
て欲しい。

というか・・・こっちはいつて、交配？！

ってことは、あーんなことやこーんなことをさせて妊娠させるって
こと？！

あまりの驚きでつい真っ赤な顔で上目遣いにニコラ様を見ると、
ニコラ様の顔が少し赤みがかって少し照れたようになった。

あ、もしかしてニコラ様もこっという話をして恥ずかしいのかも知れ

ない。

わかる、わかりますよその気持ち！

なんかいたたまれないですよね……。

にしても交配か……。

ミランジエは私がこの国に来たときに産まれたパンダで年齢は6歳。対するミツシエルはニコル様が産まれた時に産まれたパンダで年齢は23歳。

人間ならアウト！な年齢だが……人間とは違う体の構造を持っている

パンダなら問題ないだろう。

それに私のいた日本ではパンダの寿命は30歳くらいといわれていたが……。

この世界では、さすが異世界！人間と同じ80歳くらいまで生きるらしい……。

つまりミツシエルはまだまだ十分若いのである。

しかも2匹は仲が良い。

「2匹とも仲イイアル、交配するよろし」

「本当に、ほんと？」

勢いよくニコル様が着てくるのでびっくりしながらうなずくと、

ニコル様は小さくガツポーズしてたいへん喜んでいらっしやる。

そんなに2匹を交配させることが嬉しいのだろうか？

私も嬉しいと言えば嬉しいが……そこまでは喜べない。

やっぱり異世界人の感覚ってよくわかんないや。

交配（後書き）

主人公のしゃべり方気になった方いらっしやったら、すいません。

一話で主人公が中国人みたいに聞こえてるんだろぅな〜というのが

本当にそう聞こえてるっていうことです・・・はい。

パンダの好物といえは・・・(前書き)

パンダの生態で違っているところがあつたらごめんなさい。
違つても、そこは異世界だから！でお願いします。

パンダの好物といえば・・・

しばらく食堂でニコル様とたわいもない話をしていたが・・・
ニコル様の仕事時間になって朝の食事の時間はそこでお開きになっ
た。

ニコル様が何の仕事をしているかは知らないが・・・かなり多忙な
のは知ってる。

こっそり仲の良いメイドさんに聞いたことがあるのだが、口を濁さ
れてしまった。

なんでもニコル様に言うなど、言われているらしい・・・。
言えないような仕事って・・・どんな仕事なんだろう？

暇になった私はミランジエと一緒に食後の運動・・・もとい、
散歩のため庭へと向かう。

いやいや、普段は私もメイドさんとかの仕事手伝ったりして忙しい
んですよ？

ニコル様からはそんなことしなくていい！といわれてるんですが・・・
・
住まわせて貰ってるに何もしないってのもなんですからね・・・。

今日は、2匹を交配させるとしばらく会えなくなるから今の内に
いっぱいかまっておきなさいと、ニコル様に言われて当分お休みを
貰ったのです。

え？ミランジエが突然現れたな？・・・ですか？

いやいや、最初からいましたよ！

私の部屋のドアノブ開けて廊下歩いているときも、食堂で
ご飯食べてるときも一緒に居ましたから！

ちなみに、ミッシェルも当然居ました！

(描写されてなかっただけで！)

二匹とも、私たちが会話する横で好物の鮭(生)や

人参やジャガイモ(生)などの野菜をぱくつき、

それから蜂蜜たっぷりのパンナコッタをめぐって争ってました！

パンダコッタ王国という名前の国のせいか・・・この国のパンダは
蜂蜜たっぷりのパンナコッタが大好物なんですよね！

その争いのせいで毎年多くの怪我パンダが続出したり、
下手すると死亡例なんかもあるんです！

パンナコッタって柔らかくて食べにくそうなのに、この国のパンダは
結構器用に食べるんですよ！

まあ、ミッシェルは優しいのですぐミランジェにあげちゃうだけ
ど・・・。

そんな甘いものばかり食べてると太るぞ、ミランジェ！

え？パンダは笹や竹が好物なんじゃないのか？・・・ですか？

そうなんですよ！そう思いますよね？

なので私も昔ニコル様に、スケッチブックにパンダと笹の絵を描い
て、

「パンダ！」「笹！」「食べる！」

と片言で聞いたんですよ！そしたら・・・

「パンダは雑食・・・つまり人間と同じでなんでも食べます。なので、人間が笹を食べないように・・・効率が悪いのでパンダも食べません。」

ところで、どうしてそんなこと思っただんですか？」

と、逆に聞かれちゃった！

スケッチブックと片言言葉で、悪戦苦闘の末、私のいた国のパンダは笹を食べてたんです！と説明したら・・・

「へえじゃあ、アヤの国のパンダは見た目は一緒でも草食動物なのかも知れませんか？」

と言われてしまった！？

え？パンダって熊科だよな？熊ってことは肉食ってことで・・・あれ???

なんで笹なんか食べてるんだ???

という疑問をニコル様に更に悪戦苦闘して投げかけてみたら・・・

「環境の違い。」

住んでいる場所によって出る差ですかね・・・

にしても、元が肉食なら笹なんて効率悪いものを食べて対して栄養にならず、

どうしてそうなったのか、たいへん興味深いですね・・・」

と言って目がきらつきらっしてた。ほんとこの国の人ってパンダ大好きだな。

それにしても、私の国のパンダは一日中笹を食べるって何かの本で読んだことがあるけど

・・・それってニコル様がいうように効率が悪いからなのかな？

なんでわざわざそんなもの食べてるんだ??

あ、ちなみに、某キャラクターの熊さんが
蜂蜜が大好物のように、熊科であるこの国のパンダも蜂蜜は好物
です。

ロイドとブレット

庭をミランジエと散歩をしていると突然後ろから声をかけられた。

「お前、こんなところにいたのか」

「ロイド・・・お前何かようアルか？」

彼はニコラ様の知り合いらしいのだが、大概見かけると暇そうにしている、何をしているのかはニコラ様同様わからない。

彼が所持しているパンダは、

「ブレット」というのだが・・・

ミランジエと仲が悪い。

というか一方的にミランジエが嫌っている。

今も不用意にミランジエに近づいてきたところを、ミランジエの右クロスによって吹っ飛ばされた。

結構いい音がしたが、いつものことだし、ブレットはかなりタフなのですぐに復活するので気にしない。

タフなことか、学習能力がないところとか・・・ほんと主人によく似ている。

意外に（意外でもないか？元々熊だし）

この国のパンダって好戦的で強いんだよね

ちなみにミランジェがブレットを嫌っている理由は
『自分より弱いから・・・』

パンダも動物・・・弱肉強食の世界の動物界では、
強い子孫を残そうという本能が働き、それゆえ、
弱きものには興味がないのだ・・・。

でも、ブレットはミランジェのことが好きっぽい
んだよね〜その報われなさが可哀想だ・・・。

「おい、なんでお前のパンダ毎度毎度そんなに
攻撃的なんだよ・・・。

飼いパンダは主人に似るって言うのに・・・
ミランジェはお前にほとんど似てないな・・・」

「じゃあ、きつとニコル様に似たアル。

子供の頃世話をしていたのはほとんど世話して
たのはニコラ様アルから」

普段のにこにことした笑顔からは想像できないが、
案外好戦的な性格している。

(特にロイドとかロイドとかロイドとかに！)

ミッシェルもミランジェと似たような性格をしているので

(特にブレットとかブレットとかブレットとかに！)

案外本当に似たのかも知れない・・・。

三つ子の魂百まで・・・とかいうあれだな。

「あゝそうだったな・・・
ところでさニコルから聞いたんだけど、
お前、ニコルと交配するってほんとか？
あいつ、顔が始終にやけっぱなしで気持ち悪かったぞ」

彼も私がこの国来たときからの知り合いだ。
なのでつき合いは結構長い。

にしても、にやけるニコル様？！

それはそれでレアな顔だから見てみたいような・・・
見たくないような・・・って、いやいや、

そんなことより、私とニコル様が交配？！

その言い方じゃまるで私とニコル様が子供を産むみたいじゃないか
！？

「違うアル。

ミッシェルとミランジェが交配するヨ」

「ミッシェルとミランジェ・・・って、
意味ほとんど一緒だろ？」

何を言うー！！

前者と後者じゃ大分意味が違うぞー！！

前者だと大変恥ずかしい！

真っ赤になってぶんぶんと首を左右に振っていると、
ロイドがぼそつと聞こえるか聞こえないかくらいの
声で言った・・・。

「……………交配、俺とじゃ駄目？」

ロイドと交配！それじゃまるで（以下略）

大体ブレットとミツシエルを同じ部屋なんかにいれたら
ミランジエにぼっこぼっこにされて、

ブレットがストレスではげろぞ！

「無理アルネ！」

「無理……いやあく実際無理なのは事実なんだけど
……そう即答されると、傷つくんだけど……？」

ブレットとミランジエが交配できないのがそんなにショックなのか？
親心ってやつ???

やっぱりこの世界の人の感覚はよくわからないなあ。

22

「てかお前さ、……交配の意味ちゃんと分かってる？」

「知ってるアルよ！」

「いや、絶対分かってない。」

交配って……こんにゃく……」

こんにゃく?!

私は見たこと無いけどこの世界にもこんにゃくあるの?!と考える
いたら

ロイドが突然地面にぶつ倒れた!!

え???!

と思った瞬間にロイドの後ろから現れたのは

いつも通りのきつらきらスマイル姿のニコル様だった。

おまけ話(という名のキャラ紹介)(前書き)

キャラの描写を挟もう挟もうと思いつつ、挟むと話のテンポが悪くなるしなあ〜と置いていれなかったキャラ紹介をここで入れときます。

一応主人公の一日ってな感じの話になってます。

おまけ話(という名のキャラ紹介)

「よし、準備万端！」

私は自分の部屋の姿見で、自分の身だしなみを確認する。

この国に来た当初は、髪はショートボブで短かったのだが・・・今はセミロングくらいの髪の長さで切りそろえていて、

普段はピンやバレッタなどを使って、頭の横で可愛くまとめている。

当然、日本人なので髪の色は黒で、目は茶色！

身長はこの6年でだいぶ伸びて、155cm！

でも、ニコル様やロイドに比べるとまだまだ低いんだよね〜

二人は絶対180くらいあるんだよね〜

牛乳一杯飲んだらまだまだ大きくなれるかな？

さあ、フードを被ればo.k!

ちなみに、特に化粧はしない。めんどくさいし、ニコル様もそのままで十分可愛い

っていつてくれるしね。

ま、可愛いって言ってもらえるのはパンダフードの効果だろうけど・・・。

私こと桜井彩乃16歳(女)！いざ、

私の飼いパンダであるミランジエ(6歳)を連れて、食堂へ出陣します。

食堂に着くとニコル様はもう先に席についていらっしやっただ。
当然ニコル様の横には、ニコル様の飼いパンダのミッシェル（2
3歳）がいる。

「おはようございます、アヤ」

いつものきらきらスマイルで挨拶するニコル様。

ニコル様はいつ見ても笑顔！

この笑顔がうさんくさく見えないのだからニコル様はすごい！

ちなみにニコル様の苗字はすごく長くて・・・よく覚えてない。
よくあんな長い名前噛まずにいえるな〜といつも感心している。

年はミッシェルと一緒に23歳でもちろん性別は男。

未婚　ここ大事！

ニコル様の髪の色はさつらさらでストレートで綺麗な薄金色。
それを頭の上で瞳と同じ色の水色のひもで一つ結びしている。
両耳にはこれまた目と同じ色の石のピアスをつけていっらしやる。
そして頭の上にはカチューシャのパンダ耳・・・。
うむ、違和感なし・・・不思議だ・・・。

じいーっとニコル様を見ていたら、ニコル様がデザートのパンナコ
ッタ

を私に下さった。

もしかして欲しがっていると勘違いされたのかな？

「アヤのそういつとくるミランジェに似てますよね・・・」

って言われちゃった！

何？私がよくニコル様にパンナコッタねだってるってこと？！
ミランジエはミッシェルに毎回ねだってるけど、
私は3回に一回くらいしかニコル様にねだらないぞ！

貰ったパンダコッタは美味しく頂かせて貰いました
ちなみに私の横ではミッシェルに譲って貰ったパンナコッタを
ミランジエが美味しそうに食べてました！

ミッシェルってミランジエにだけは甘いんだよね。
その優しさをどうしてブラットには分けてあげれないのか
・・・って、それはミランジエもか・・・。

食事を食べ終わると今度はメイドさん達のお手伝い。
メッドメイキングしたり、お部屋の掃除したり・・・色々する。

重い荷物を持って目的地まで目指していたら、荷物が突然軽くなっ
た。

突然現れたロイドが持ってくれたようだ。

ロイドがどこからともなく突然現れるのはいつものこと。

そして現れるといつも仕事を手伝ってくれる・・・暇人だ！

「こつという重いものを持つのは男の仕事っとな」

ロイド・・・あーそういえば下の名前知らないな・・・聞いたこと
もないし。

結婚しているかも聞いたことがないな・・・興味ないし。

髪はウルフで赤、目は赤みがかったオレンジ。
ニコラ様と違ってちゃらちゃらしたピアスを両耳に付けている。

そして頭にはパンダ耳・・・彼が付けると某ネズミキャラの
カチューシャを付けてる人みたいになるんだよね〜なんでだろ？
なんか、ヤンキーが可愛らしい耳を付けてるって感じで違和感があるんだよね。

彼の見た目は一言で言えば・・・軽そうな男！
性格はそこまでではないが・・・見た目はめちゃくちゃ軽そうに見える。

そして彼の飼いパンダのブレット（24歳）
ミッシェルやミランジェに比べるとおとなしい子で苦勞人。
よくミランジェに殴られるし・・・ミッシェルにはいつも喧嘩で負
けてるし・・・。

いつか10円はげでも出来るんじゃないかと若干心配してる・・・
でも、ミランジェによく殴られるのは殴られるとわかってて
近づいてくる君が悪いんだぞ！
飼い主として私は悪くないぞ！

ブラットはミランジェのことが好きみたいだけど、
ミランジェとミッシェルは、両思いつばいんだよね・・・
ほんと彼は報われないよ・・・。

そんな感じで手伝って貰いながら午前中は仕事をして、
昼食はニコル様と食べたり、メイドさん達と食べたりする。

午後はフリータイムでミランジェの世話したり、ニコル様から預かったミッシェルの世話したり、遊んだり、なんやかんやして一日を過ごす。

こんな感じで私は日々を過ごしています！

ミッシェルvsブレット

「ニコル様、そんなにボカスカ殴っていたら、ロイドいつかバカになるアル」

「アヤ大丈夫です、こいつは元から馬鹿です」

一瞬素で驚いたが、落ち着いて考えれば何のことはないいつものこと。

ニコル様がいつものようにロイドを思いっきり殴ったのだ。

さわやかな顔でなにげにひどいことも言っているが、

・・・いつものことで、事実でもある。

「ニコル！いきなり後ろから殴るなよ！！」

あ、復活した！

ブレット同様、ロイドもタフなんだよね

「お前が余計なこと言おうとしたのが悪い」

「余計って・・・必要なことだろうが！？」

「ふふふ、馬鹿なロイドはまた殴られて気絶したいのか？」

喧嘩口調のロイドに比べて、ニコル様は爽やかに会話している。

が、爽やかな見た目と口調に反して言っている内容は爽やかさとはかけ離れている。

ま、いつものことだ。

ロイドが余計なことをする&言う

ニコル様が殴る

言い争いが勃発

お互いの気が済むまで終わらない

昔はね、仲介とか私もしてたんだよ？

でも、無意味だと気づいてからはほっとくようになった。

こうなると長いので、退散しようとしたら・・・

今度はミッシェルvsブレット戦が始まっていた。

これもいつものこと・・・。

ちなみに、今までの勝敗はブレットの0敗・・・。

戦闘態勢に入った二匹。

しゃっあぁ〜！というかけ声とともに戦いの火ぶたは切っておろされた。

私は暇ついでに戦いを観戦しつつ心の中で解説をする。

どうせミッシェルが戦ってるならミランジェはてこでも動かないしね・・・。

まずはブレットの右ストレート！

それをすかさず両手で防御するミッシェル！そして、すぐさま頭突き！

おっと、これは痛いぞ！

でもタフさが売り？のブレット、ちょっとぐらついたがすぐに復活
！！！！

それにしてもさすがニコル様のミッシェル！

攻守、素早さ共に高く、バランスが取れてますね〜

対するブレットは素早さや体力はあるものの、ミッシェルに
ダメージを与えられるほどの攻撃力が無いのが残念！！
そこをどう補うかが勝敗の鍵ですね〜

そんなことを言っている内に戦いは進んでミッシェルの得意技！

飛び膝蹴りキーク！！

おっと！これは決まったか？！

ブレット立つか？立つか・・・立てない！！！！

どうもさっきミランジエに殴られたのも痛かったみたいだ・・・。

勝者、ミッシェル！！

勝者のミッシェルには勝った特典として、ミランジエからの勝利の
キスが贈られます〜！

まあ、二匹とも嬉しそうにしちゃって・・・。

さすが弱肉強食の世界。

強いものに惹かれるのですね・・・。

あちなみに、パンダって動きが遅いイメージがあるけど、この国の
パンダって

力はあるし、強いし、格闘家だし、俊敏で・・・馬みたいに人を乗
せて

何十キロも馬並みの速さで走ったりするんだよね〜。

敵に回せば怖いけど、味方に付けねばこれだけ頼りになるパンダは
他には

いないよ！

さすがパンダ大好きパンダコッタ王国！

パンナコッタの真実：パンダ編（おまけ小話）（前書き）

思いついたので書いてみました。

パンナコッタの真実：パンダ編（おまけ小話）

じいーっとな俺（のパンナコッタ）を見つめてくるミランジエ。それだけでとても可愛いので、パンナコッタを無条件であげたくないが、

まだここではあげられない。

「・・・ちよっだい？」

目をつるつるとさせ、ちよっと小首を傾げて上目遣いで言うミランジエ。

それだけでとても可愛いので（以下略）

「駄目！」

と、俺が言うとミランジエは臨戦態勢になって、

「四の五の言わず、よこせえー！！！」

と、いきなり豹変する。

いつものことだが、もの見事な変貌ぶりである。

ま、そんなところも可愛いと思う。

俺も臨戦態勢になって、ちよっと手加減してミランジエを威嚇すると、

ミランジエが少したじろぐ。

だが彼女はいじっぱりな性格なので、こんなことぐらいではパンナコッタは

諦めない。

そして戦闘開始。

といっても子供の喧嘩のようなたわいもない争いだが。

俺は手加減したパンチを繰り出し、
頭をこすりつけ、彼女の上にのしかかり、甘噛みし、
彼女のお肌？（毛）を、争いを口実に、思う存分べたべたとさわっ
て堪能する！

ほら？こんなことでも無いとさわれないしいー

突然何もなしにさわったら俺、いやらしいやつになっちゃうじゃん？

え？十分いやらしいやつだ！・・・だつて？

ミランジエにはねなきやいいんだよ。

ほどほどのところで俺は参ったのポーズをして、

「しかたないなあ・・・やるよ・・・」

と、残念そうにしながらミランジエにパンナコッタをあげる。

もちろん、幸せそうにパンナコッタを食べるミランジエを拝むのも
忘れない。

一応俺もパンナコッタ大好物なんだぜ？

でもこれがあるから、ミランジエにパンナコッタあげるのについて
やめられないんだよね。

.....

「・・・的なことを思ってます」
まじで？！

今、ニコラ様にミッシェルとミランジエの会話をアフレコしてもら
っていたのだが・・・

（産まれたときから一緒にいるので、ミッシェルの気持ちが分かる
らしい・・・）

あんなたわいもない可愛らしい喧嘩が、そんないやらしい喧嘩だつ

「たとは・・・
・・・なんだか私ショックアル・・・」

パンナコッタの真実：人間編（おまけ小話）（前書き）

パンダ編を思いついた時に、人間編もついでに思いついたので書いてみた。

パンナコッタの真実：人間編（おまけ小話）

じいーと私（のパンナコッタ）を小首をかしげて上目遣いで見つめるアヤ。

それだけで無条件にパンナコッタをあげたくなる可愛さである。

パンダの黒毛のところのように、黒々しい髪の毛（この国では珍しい色）に

まん丸くて大きい茶色の目。

アヤは気にしているみたいですけど、とても16歳に見えないベビーフフェイス

もパンダ服と相成ってアヤの可愛さを更に可愛くさせている。

これでパンダフードを被っていれば完璧なのに！

アヤは食事中は邪魔だからと言ってフードを被らない・・・残念なことです・・・。

フードを被れば完璧ですが、周りを気にせず食事をぱくつくアヤはそれだけで小動物のようで可愛い。

だから、パンナコッタを欲しそうな顔をされるとあげちゃうんですよね。

パンナコッタを渡したときの彼女の花がほころぶような笑顔！

そして幸せそうな顔で食べる顔！

あれを見るためだと思えばパンナコッタの一つや二つなど何ともない。

昔はパンナコッタをあげるたびに、

「ニコルさまあ、ありがとう〜」

とか言っつて、ほっぺにちゅーしててくれたり、

「ニコル様にも、あげるう〜」

とかいって食べさせてくれたのに・・・

最近はそういうのがないのでちょっと寂しい。

私から食べさせようとするときに逃げてしまっし・・・。

変わりと言っつては何ですが・・・アヤがパンナコッタを食べている間は、

頭の上から足の先まで、なまめかしい目つきで観察させてもらってます。

え？お前いやらしいやつだな・・・ですか？

いいんですよ、アヤにさえばれなきゃ。

アヤは食事中は周りに注意散漫ですからいくら見つめていても気づかれませんか。

あ、もちろん、アヤの幸せそつに食べる顔も存分に拝ませて貰ってますよ。

ほんとには私もパンナコッタ好きなんですよ？

でもアヤがあまりにも可愛すぎるので、つついパンナコッタをあげちゃうんですよね〜。

ちなみに、ミランジェとアヤが似ているというのは・・・

『ねだり上手』
つとむるびす。

パンナコッタの真実：人間編（おまけ小話）（後書き）

ニコルのイメージが違っていたらごめんなさい。
でも彼は元からこんなやつです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2422z/>

パンダコッタ王国

2011年12月11日20時51分発行